



(写真左から)コノシロ部長、末松市長、日本航空株式会社熊本支店尾道早織支店長、有限会社熊井商店 熊井幹夫代表取締役社長

— 「すてる油で空を飛ばう®」 —
廃食油を航空燃料へ

6/30 市は日本航空株式会社との連携事業の一環として、家庭で発生するサラダ油やごま油などの廃食油の回収ボックスをスーパーフレッシュくまい不知火店に設置しました。これは、廃食油を国産S A F (持続可能な航空燃料)の原料として活用し、ごみの分別促進につなげる県内初の取り組みです。



南消防署の職員が区民に救助方法の指導を行う

— 大野区が防災訓練を実施 —
非常時に必要な知識と技術を

6/14 大野ふれあい会館で大野区防災訓練が開催され、地域住民をはじめ、南消防署、市防災消防課、市防災士会、消防団など約130人が参加しました。同区の上山和博区長は、「災害時だけでなく、日常生活の中でも役立つ知識や技術を学ぶ機会ですので、今後も多くの人に参加していただきたいです」と話しました。



(左から)浅井副校長、アグリパーク豊野出荷協議会今井副会長

— アグリパーク豊野が図書カードを贈呈 —
読書の楽しさを子どもたちへ

5/29 (有)アグリパーク豊野が豊野小中学校と不知火小学校に図書カードを贈呈しました。同社は規格外野菜を「希望のざる」として販売し、売上金から毎年両校へ贈呈しています。豊野小中学校の浅井重光副校長は「読書の楽しさを知るきっかけになれば」と述べました。また、3月には同事業益金50万円を市に寄付しました。



職員からダム役割などの説明を受ける児童たち

— 青海小4年生が石打ダムなどを見学 —
水を届ける仕組みを学ぶ

5/26 青海小学校4年生12人が石打ダムと浄水場で校外学習を行いました。宇城地域振興局の職員からダムの役割や構造について説明を受けながら施設内を見学。普段使っている水がどのように家庭に届けられるのかを学びました。児童は「ダムの中まで入ることができ、貴重な体験になった」と笑顔で話していました。

ようこそ市長室へ



悲願の県大会初優勝

6/15 松橋中学校男子バスケットボール部の14人が末松市長を表敬訪問し、5月に行われた県中学生バスケットボール大会での優勝を報告しました。鎌田帆翔主将は「この勢いで、今後控えている中体連大会で九州大会出場を目指したい」と意気込みを語りました。



ダンスイベントで優勝

6/3 宇城市在住のダンサー・山根良平さん(写真中央)が市長を表敬訪問し、5月に福岡県北九州市で開催されたストリートダンスバトルイベント「UNION × positive shiritori vol.34!!」の「ハウスソロバトル高校生以上一般部門」で優勝したことを報告しました。



会員に向けてあいさつをする濱崎壽子会長

— 市地域婦人会連絡協議会大会 —
「できることを、できるしこ」で地域のために

6/13 市地域婦人会連絡協議会大会が三角防災拠点センターで開かれ、約70人の会員が参加しました。同協議会は、社会教育法に基づく社会教育関係団体として地域の身近な生活課題や地域課題解決のために活動しています。濱崎会長は「『できることを、できるしこ』の精神で地域のために活動していこう」と話しました。



バックホウで側溝の泥をかき出す作業員たち

— 建設業協会宇城支部(青年部)が地域貢献 —
子どもたちのために施設的环境作りを

6/12 建設業協会宇城支部(青年部)15人が豊野小中学校で側溝清掃ボランティア活動を行いました。この活動は校区内の子どもたちのために毎年行われているもので、今回で9回目。学校関係者からは、「学校では対応が困難な場所のため、今回のような清掃活動は非常に助かりました」と感謝の意が送られました。